

食料品等の物価高騰対策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム付き商品券発行事業に取り組み、切れ目なく物価高騰に対する町民生活と町内消費の下支えに努めてまいります。

#### ◆雇用対策・人材確保

昨年6月に立ち上げました「雇用対策協議会」を中心に、官民一体となって企業の魅力向上や人材のマッチングを通じて、町内の人材確保を進めてまいります。

また、医療介護、建設土木分野の人材確保も継続してまいります。

#### ◆観光振興

日本遺産「出雲國たたら風土記」及び「千年が生んだ物語」につきましては、昨年7月に認定更新に選定いただいたところであり、「世界農業遺産」とともに、新たなツアアの造成を進めてまいります。

斐乃上荘改修につきましては、調査業務の結果を踏まえ、次のステップに進んでまいります。

### 「安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり」

#### ◆道路新設改良事業

1級町道高尾線をはじめとする8路線で道路線形の改良や拡幅を行い、道路の安全性・利便性の向上に努めます。

また、道路防災・老朽化対策、落石等の災害防除対策について、道路構造物等の点検を実施し、危険度・緊急度の高い箇所から修繕を進め道路の安全確保に努めてまいります。

県事業につきましては、継続事業の早期完成を働きかけるとともに、新規事業の導入や安全な地域づくりのため、土砂災害防止対策や浚渫等による

河川の環境整備を進めていただくよう引き続き関係団体に要望をしてまいります。

#### ◆上下水道事業

老朽水道管の更新工事を継続して阿井地区、馬木地区において実施をいたします。今後も順次施設の更新・整備を進めてまいります。

水道料金につきましては、令和8年4月使用分から改定することとなり、利用者の方への周知を図るとともに経営の健全化に努めてまいります。なお、令和8年12月使用分までは、国の重点支援交付金を活用し、基本料金の値上げ部分を支援し負担軽減をしております。

また、下水道事業につきましては、令和8年度は、合併処理浄化槽5基の設置を計画しているほか、公共下水道と農業集落排水4施設の統合事業を継続して実施いたします。

#### ◆消防防災

昨年は、町内での火災が14件発生し、一昨年の6件を大きく上回る発生となりました。幸いにも、人命に関わる火災は無かったところですが、引き続き火を取り扱う季節でもありますので、注意いただきたいと考えています。

令和8年度消防施設の整備として、耐震性貯水槽整備を計画的に実施してまいります。

#### ◆公共施設の適正管理

公共施設の適正化を推進するため、公共施設の除却事業を進めてまいります。

令和8年度は、老朽化が進んでおります上阿井国際交流センター、高田コミセン、旧阿井幼稚園舎、鳥上、横田、八川集畜場の解体、除却を実施いたします。

#### ◆空き校舎活用

本年4月に布勢・亀高・阿井・三沢小学校が仁多小学校へ統合され、4校が空き校舎となります。布勢小学校は公民館を含む地域拠点施設の整備を予定しており、令和8年度に解体設計へ着手する予定です。

三沢小学校は令和8年度からデイサービス施設への改修を開始し、2階は多世代交流施設として整備します。亀高小学校と阿井小学校は、公民館やコミュニティセンターとしての活用について地域の皆様と連携しながら、具体的な活用方法を検討してまいります。

旧高尾・旧鳥上・旧馬木小学校についても、各地区と意見交換を行いながら今後のあり方について協議を進めてまいります。

#### ◆老健跡地への複合施設の整備

これまで立地適正化計画の策定にあたり三成地区の老健跡地の活用につきましては、多くの意見をいただいておりますが、令和8年度に検討を本格化し、複合施設の計画が定まった後に旧老健の取り壊しに入りたいと考えております。

#### ◆公共交通施策

奥出雲交通につきましては、本年4月から仁多小学校が開校することから大型バスを購入し、ダイヤ改正や車両の増便・増車を行い、児童・生徒が安心して通学できる体制を確保してまいります。

デマンド交通につきましては、昨年4月から三沢、三成地区の部について実証運行から本格運行に移行いたしました。高尾地区は、来月4月からは本格運行に移行いたします。

令和8年度は、さらに布勢地区および亀高地区へのエリア拡大を予定しており、地域の皆様の声を丁寧にお伺いし

ながら、交通事業者と連携し実証運行に向けた協議を進めてまいります。

#### ◆空き家対策

令和6年度から各地区での空き家相談会を開催させていただき、窓口への相談も多くなってきたところであり、今後は、住まなくなった空き家を良い状態のうちに活用いただく利活用と、老朽空き家の除却と、除却に伴う環境整備を総合的に対応するため、令和8年度は新たに「おくいずも住まい再生事業」を実施し住まいの確保と住みたくなるまちとしての魅力づくりを進めてまいります。

#### ◆環境衛生

次期一般廃棄物処理施設整備につきましては、資金・資材の高騰傾向に伴い施設整備費用の増加及び各市町の財政に与える影響の拡大が懸念され、施設整備に係るあり方の再検討作業が進められており、施設整備費の再算定や外部委託した場合の経費試算などが行われ、適宜、情報の共有を受けております。

令和8年度においては、整理された基礎資料に基づき、雲南1市2町による協議を行い、雲南圏域として喫緊の課題であり、最善なゴミ処理のあり方の方向性を見出したいと考えております。

また、ゴミの減量化を図る取り組みとして、令和8年度は新規事業としてSDGs推進ごみ削減機器導入支援事業により、生ごみ処理機の購入に対し定額助成を実施してまいります。

#### ◆環境政策

脱炭素社会の実現に向けては、国の重点対策加速化事業を活用し、各家庭での再生可能エネルギー設備の導入支援や省エネに係る空調機器の導入支援に取り組んでまいります。

が拡充されます。

これらのデジタル化に対応するため、基幹系システムの改修を行い、町民の皆様が、申告や納税をしやすい環境整備を推進してまいります。

#### ◆総合計画の改定

「総合計画」は、町のめざすべき姿とその実現のための取組みを定めた町の最上位の計画であります。総合計画は、令和3年度を初年度とし10年間の長期的ビジョンを定めたものですが、私の町長就任後、令和5年度に改定し、「総力戦のまちづくり」「奥出雲創生」をスローガンに掲げ、まちづくりの4つの理念のもと、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

当初計画の策定から5年が経過し、来年度は中間年を迎え、施策の成果を検証するとともに、更なる人口減少、子育てや移住定住対策の推進、AI等のデジタル技術の活用、世界農業遺産認定を活かした農業、観光等の取組みなど、急速な時代の変化に対応していくため、計画を改定いたします。

### 総括

財政状況は仁多小学校の新設等による大規模事業もあり、非常に厳しい状況ではありますが、知恵を絞り、財源を確保し、財政健全化を図りながら少ない財源に魂を込めて、今後も「奥出雲町を強く、豊かに」、町民の皆様が将来に向かって、今を、毎日を、誇りと希望を持って生きられるように、「奥出雲創生」総力戦のまちづくりを使命感と情熱をもって推進してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度からは、既存住宅の断熱改修が事業対象に加わりますので、再エネ設備導入の際のリフォームなどご検討いただきたいと思います。

また、新規事業といたしまして、オンラインPPAによる公共施設への再生可能エネルギー設備の設置とソーラーシェアリング、小学校周辺のバス停付近の融雪設備の設置について調査を実施してまいります。

### 「奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」

#### ◆奥出雲病院の取り組み

医療・介護・在宅診療が一体となった切れ目のない支援体制を強化するとともに、専門職による出前講座や健康事業を通じて健康寿命の延伸と予防医療を推進し、地域住民の皆様と共に歩む病院づくりを進めてまいります。

引き続き、効率的な経営と質の高い医療人材の育成に注力し、地域医療の中核としての役割を果たしながら、将来にわたって安定した医療を提供できるように、経営基盤の維持・強化に努めてまいります。

#### ◆奥出雲病院附属横田診療所

永生クリニックの藤原院長より、令和8年3月末をもって閉院することの意向が示され、町では関係の皆様と協議、相談を重ねた結果、横田地域の医療提供体制を守るため、同場所に「町立奥出雲病院附属横田診療所」を開設することを決定し、令和8年4月7日より診療を開始する予定としております。

診療体制は、奥出雲病院の医師1名体制を基本とし、看護師や事務職員を配置いたします。また診療については、月曜日から金曜日の「予約制」とし、病院とのシステム連携により、迅速な検査対応を可能にする仕組みを計画し

#### ◆高齢者福祉

高齢者等みまもりネットワーク事業

につきましては、本年4月から委託先の社会福祉協議会へ事務所を移転することで、利用者へ電話を掛けるだけでなく必要時には訪問やご家族と連絡を取るなどこれまで以上に個々の利用者に合わせてサービスとしていく予定です。

#### ◆障がい者福祉施策

令和8年4月から旧三沢幼稚園において放課後等デイサービス事業が仁多福祉会により開始される見込みとなり、障がいのあるお子さんやそのご家族が、専門的な療育や相談支援を受けられる体制の充実が図られることとなります。

令和8年度には「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定を予定しております。

#### ◆スポーツ・文化振興

町民の皆様が様々な分野で活躍できるように支援を継続するとともに、健康で心豊かな日々が過ごせるよう、スポーツ推進員による軽スポーツの普及や子ども達の体力向上プログラムなどスポーツ振興に取り組んでまいります。

文化振興につきましては、73団体が加盟する奥出雲町文化協会において、

#### ◆税制改正に伴う地方税の手続きのデジタル化

令和9年から固定資産税と軽自動車税で、希望する納税者に、納税通知書等の電子的送付が運用開始されます。

また、インターネットを利用して地方税の手続きを電子的に行うシステムである「e-TAX（エルタックス）」の更新により、国税と地方税の連携項目

#### ◆全ての行政分野で推進すること

◆幼児教育施設を活用した関係人口の創出

令和8年度より幼児教育施設を活用し、都市部の子育て世帯が一定期間、町内の施設を利用してながら、自然豊かな環境の中で子育てを体験できるプログラムを実施してまいります。

こうした体験を通じて、子どもたちのびのびと成長できる環境を提供するとともに、保護者の皆さまにも本町の暮らしやすさや地域の温かさを実感していただき、将来的な移住・定住につなげていきたいと考えております。

引き続き芸術文化祭や芸能音楽祭の開催など文化の薫り高い町づくりを推進してまいります。

#### ◆公園施設整備

公園整備事業について、2030年国スポ開催に向けた三成公園ホッケー場の人工芝張替えなどの改修整備を実施します。

また、横田高校ホッケー場の改修整備に備え、工事期間の練習会場の確保のために県補助事業を活用し横田公園野球場をホッケー練習拠点施設として整備いたします。